

鶴の木地区地域情報紙

さんぽみち

第64号

発行：地域力推進鶴の木地区委員会
編集：鶴の木地区 地域情報紙編集委員会

事務局：鶴の木特別出張所 電話(3750)4241 FAX(3750)2418

平成22年12月1日現在

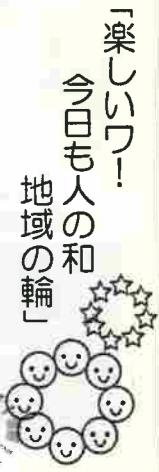
鶴の木特別出張所管内の人口

男 10,923人

女 11,702人

計 22,625人

世帯数 11,913世帯



「楽しいワッ! 今日も人の和 地域の輪」
第7回鶴の木地区 高齢者ふれあいフェスタ 開催のお知らせ

今年もまた、鶴の木地区の高齢者が一堂に会してふれあう「高齢者ふれあいフェスタ」を開催します。ステージやブースでの楽しい企画が満載です。どうぞお出かけください。

日時 平成23年3月10日(木) 午後1時～4時

会場 大田区民プラザ (展示室及び小ホール)

ステージ 「童謡と童話のコンサート」 (ぐるろふ観覧車)

・保育園児のお遊戯 (千鳥保育園)

主催 鶴の木地区町会連合会・高齢者ふれあいフェスタ実行委員会



共催 もみじふれあい元氣塾、鶴の木ふれあい元氣塾、千鳥ふれあい元氣塾

協賛 大田区社会福祉協議会
問合せ先 鶴の木特別出張所

七中生と一緒に遊ぶ会が 開催されました

平成22年11月28日(日)に青少年対策鶴の木地区委員会主催による、七中生と一緒に遊ぶ会が大森第七中学校で開催されました。

この行事は、七中の生徒たちが考えてくれたプログラムにより小学生と一緒に遊ぶという内容になっており、普段あまりない中学生と小学生が交流する機会とし、地域の子どもたちの連帯感を育てることを趣旨として行っています。

▼ 野球の前に準備体操



今年には生徒会、野球部、女子バレーボール部、ハンドボール部、陸上部の生徒たちが参加してくださり、様々なゲームを小学生に体験させてくれました。



▲ ハンドボールを習う

年頭のごあいさつ

鶴の木地区町会連合会 会長 佐藤 大助



謹んで 新春のお慶びを申し上げます。



昨年は、町会連合会の新たな取り組みとして、「町会のご案内」チラシの全戸配布や、救急時にご活用いただく「救急医療情報キット」の普及活動を行いました。また、「国際都市おおた」と「オ・ア・シ・ス運動」の推進のため、管内小・中学校の全校児童・生徒の皆さんに啓発グッズを配布すると共に、潤いのある地域づくりのため、各町会にパンジーの花苗を配布し、育苗をお願いしました。

本年も、安全・安心で住みよい地域づくりのため、精一杯努力してまいりますので、皆様のご協力をお願い申し上げます。

年頭に際しまして、皆様のご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げます。

が、時間が経つにつれて、あちこちで楽しそうな笑い声が聞こえてきました。

小春日和の中、中学生も小学生も一緒に楽しい時間を過ごせたようでした。

来年も実施する予定ですので、みんな遊びに来てネ☆



▲マジックバルーン遊び

出張所だより

秋季善行表彰 (敬称略)

隣人愛・環境美化・防犯対策
鶴の木西町会 (おめでとー) ございます。

冬行事予定
鶴の木地区町会連合会新春懇親会
日時：1月19日(水) 午後6時
場所：大田区民プラザ

青少対新春懇親会
日時：2月8日(火) 午後6時半
場所：大田区民プラザ

和顔愛語



鶴の木西町会 会長 古谷 資友

「教育」と問われれば 私は敬と愛と答える



鶴の木 二丁目町会 会長 松本 浩三

和気あいあい



鶴の木 三丁目町会 会長 本橋 政昭

◆鶴の木三丁目町会
◎どんど焼き
日時：1月9日(日) 午前10時
場所：多摩川河川敷
◎夜警
日時：1月4～13日まで

編集後記

皆様、明けましておめでとーございます。

今年の干支は「卯」。動物では「兔」(うさぎ、うと)。初春には「雪うさぎ」の愛らしさが相応しい事でしょう。

本号は
○佐藤連合会長(年頭のごあいさつ)
○鶴の木地区各町会長
○掛川分科会長
よりご寄稿を頂き、誠に有り難うございました。

また「地域の公園巡り其の二」「大森七中生と小学校(三校)生徒との交流会」など地域に密着した記事を掲載しました。

俳句(岡本吹ぶき様)は正月を詠んだ味わい深い十句です。

編集委員一同、本年もより充実した「さんぽみち」を目標に努めてまいります。

皆様のご意見、ご感想をお寄せ下さい。

編集長 永田 清

地域と調和



千鳥南町会 会長 大芦 重雄

自立自尊



千鳥北町会 会長 吉崎 迪三

一眼は高く理想を
一眼は低く脚下を!



南久が原 一丁目町会 会長 平川 漢夫

▽▽▽▽
鶺鴒の木地区の公園巡り 其の二
 △△△△

今回は鶺鴒の木東町会・鶺鴒の木西町会・南久が原一丁目町会の公園を紹介致します。



鶺鴒の木松山公園(鶺鴒の木1-6-1)

昔から「松山」と呼ばれ親しまれていましたが、平成19年に区立公園として整備されました。東側の斜面には、その時発掘された古墳が保存されています。

さて「河原坂」から園内に一歩足を踏み入れると、大きな桜の木が数本ありま

す。春になると満開の花が実に見事です。更に、なだらかなスロープを登ると原っぱに出ます。かつては遠くに富士山の姿が見えましたが、今では立ち並ぶビル群にすっかり遮られてしまいました。「より自然のままに！」をコンセプトに造られた公園らしく、周囲には松の巨木が生えています。北側の松の林を行くと旧「鶺鴒の木公園」へと続きます。こ

んもりと木が生い茂り、階段を下ると古井戸や藤棚、そして小さな滝の流れもあり、ベンチも整備され

ています。

②コアラ児童公園(南久が原1-16-19)
 この公園は、昭和60年3月に、開園し、三方が住宅に囲まれた静かな公園です。遊具は、すべり台、コアラのクッション等が

あります。

入り口を入ったところ約8m程の藤棚があり、棚の下には石椅子が並んであり、藤の花の下での花見は格別です。又、夏には緑の葉の下での一休みは、一服の清涼剤となるでしょう。



コアラ児童公園(南久が原1-16-19)

③南久が原児童公園(通称かえる公園) (南久が原1-17-15)
 当公園は、昭和54年7月に開園した高低差のある2区画が、階段で連なっています。下の公園は、遊具がなく広々としていて

町会のラジオ体操会、お祭りのゲームコーナーや盆踊り等思い出多い公園です。又、上の公園には、幹周り2.4mもある桜の大木があり、その下のブランコ等の遊具で楽しむ子供の笑顔と満開の桜との調和は素晴らしい構図となるでしょう。



南久が原児童公園(通称かえる公園)

そのほか、祭礼、仮店や、もちつき等、わが町会の行事には大変助けてもらっている公園です。この公園を、気持ちよく皆様にご利用戴くため、ふれあいパーク活動として公園清掃を行なっています。

なお、公園の通称の由来は、上の公園に鎮座しているかえるの置物があるところからついたものです。



南久が原さつき児童公園(南久が原2-10-5)

⑤南久が原さつき児童公園(南久が原2-10-5)
 環八も近く住宅街の小さな公園です。水飲み場、ブランコ、鉄棒等があります。



南久が原二丁目児童公園(南久が原2-11-4)

⑥南久が原二丁目児童公園(南久が原2-11-4)
 久が原駅から近く、道路側は人通りも多いですが、その奥は、交通の心配も無く幼児の遊び場となつています。水飲み場、トイレ、井戸等があります。



ことり児童公園(南久が原2-14-6)



池上線線路沿いにあり、水飲み場、トイレがあり、木の陰のベンチに座り、お昼にはお弁当を食べる人もみかけます。



今回は、木村希代子、井原倬夫、佐瀬光男、加茂瑠美子、鈴木一男、石川和子が担当しました。

* 鶺鴒の木地区の公園巡り其の三は平成23年7月号に掲載予定です。

「オ・ア・シ・ス運動推進協議会」に感謝状が贈呈されました



感謝状

東京都知事から「鶺鴒の木地区オ・ア・シ・ス運動推進協議会」に、青少年育成協力団体感謝状が贈呈されました。

推進協議会は、鶺鴒の木地区の各町会から推薦された委員を中心に構成され、年間を通じて「オ・ア・シ・ス運動」の推進活動に取り組んでいます。

当日の受賞者(団体含む)は、知事表彰八十名、知事感謝状九十名で、石原都知事と和田都議会議長から、青少年健全育成の協力に対する深い感謝の意が伝えられました。



花苗の配布について

水と緑のまちづくり分科会
 会長 掛川正昭

前号にてお知らせしました苗の配布に当り、去る十月二五日に分科会委員七名でポリポット約八五〇個に園芸用土を入れる作業と水やりを行い、配布当日の準備を行いました。幸いにその夜に雨が降り、苗の植え換えには良い状態で行えたと思えます。

十月二六日午前九時に八幡神社境内に、各町会からお手伝い出来る約三十名の方々が参集され、プラグ苗(パンジー)を前日用意したポリポットに一苗ずつ植え換えを行いました。皆様の手ざわが良く、予定時間より早く完了し、各町会ごとに自分達で植えたポットを持ち帰りしました。

(百苗位)
 今回は日程の関係上、十月末の作業



▲ プラグ苗の植えつけ

業で約一ヶ月の遅れとなり、この号が発行される頃にはやっとならんとプランター等に植え換え出来る位で、開花は一月末から四月末まで楽しめます。ぜひ担当されました方々の水やり、施肥をお願いします。

今回初めての試みで、私達人が見様見まねで行いました。園芸店で売られている花の咲いた苗はすぐ楽しめますが、この活動を続けるに当り皆様のご理解と協力をお願いします。

分科会として、町の中の空間に目を配り、その空間に町の人達が協力して、緑と花につつまれたうるおいにあふれた町作りの一助になればと思

いながら進めてまいりますのでよろしくお願ひします。次回は今回の状況を見てですが、今年の四月か五月に行いたいと思



▲ 何枚か葉が出てきました

俳句
 鶺鴒の木二丁目
 岡本吹ぶき

初鳴中州の波のかがやきに
 年明くる盆梅の白ひらきつつ
 正座して十七文字の筆はじめ
 初風呂やましろの富士目前に
 初写真仔犬も家族の貌をして
 「ハイポーズ」
 笑う子泣く嬰初写真

食積の和洋こもこも四世代
 成人式済ませしナース逞しき
 書初や筆の勢い寿の一字
 年重ね 日日ありがとう
 去年今年

